編輯室の内外

山は荒され河は埋められ橋は落され堤防は破られ家は流され幾多の人命は奪ひ去られた水禍は屢々關東關西に繰り返へされ特に神戸地方の如き其回復に幾星霜を要するか豫測し得られざる狀況である、恐るべく憂ふべきは人力人智を敗北せしむるの自然力である、土木技術の進歩遂に此の自然力を制防し得るの日あるべきか否「全世界に向つて外國技術の卓越性を認識せしむべき空前の試練である」との宮本博士の言や寔に痛切なるを覺ゆる。

混亂迷亂を極めた陸上交通の統制問題は長期戰對應策の波に乘て陸上交通事業調整法として現はれ、交通界に劃期的革新の姿を見られんとするに至つた、而して愈ゝ九月に於て其遂行期に入り一切の準備は整へられたる其樞軸たる委員の顔振れは斯界一流の人物を網羅して居る、果して國民の要望する所に副ふの成案を得るや否、刮目して之を俟たん乎。

漢口陥落の日も切迫し來つたが出征の將兵不眠不休の勞苦は想像するだに難し、天宇淸朗月凰の光の下に露營の夢を結ぶも戰歿の戰友を偲ぶの身、疲勞の爲めに眠に就くも暫時にして今日あるも明日なき命を思ふの心、涙なくしては考へられない噫。

ヒットラーユーゲントの一行を東京驛頭に迎へたるの際、彼等が秩序整然として堂々行進するのに我國民は柵を越し芝地に入り混雜を極めた、彼等一行が函館を出て、青森に上陸するに當り船客はわれ先きにと上陸したるに彼等は最後に隊伍を整へて靜かに上陸したのである、其の指揮者の命に従ひ秩序を重んじ、我意を張らず恭謙已を持するの精神は實に模範とするに足る、唯形式を模倣することなく須らく其の精神に學ばざるべからざるを痛感せしめらる。

曩日我皇軍の杭州に上陸するや上海の空高く「百萬の日軍上陸す」とのアドバルーンが學げられた、今や德安の支那軍實に百萬と傳へらる、我軍攻擊の策や如何、英氣既に敵を呑む驀進の一路あるのみか。

我が近衞内閣は蔣政權を相手とせずと聲明し、彼等を膺懲すべく人と物との甚大なる犠牲を拂つて居る、戰果は日を經、月を累ぬるに從ふて擴大しつゝある、而かも長期戰の覺悟のよいかとの激勵が次から次へと加へられて居る、支那に於ての相手となるべき政權は現出は如何、頃日南北臨時政府の聯合機關成立し統一新中國建設の礎を見んとするは庶幾くは我政府をして相手と爲すに足るの權能と實力とを具備するの政權たらしめんことを。

鐵道省、朝鮮鐵道局、滿鐵、北支事務局大阪商船、北日本汽船、大連汽船では日滿支間旅客及び小手荷物聯絡運輸に關する協定を結ぶこととなり、協定文を作成して關係當局から認可されたので其實施によりでこゝに日滿支は完全に交通運輸上の一ブロツクとなり三國の交通界に一エポツクを劃することゝなつた、道路による交通ブロツクの緊切なる更らに一段の重要さを見るに至つたのである。

去る十五日の夜東京を中心とする空襲管制中横濱市内に於て電車追突し百十餘名の重經傷者を出した大慘事があつた、超滿員の乘客は將棋倒しとなつて暗黑裡に阿鼻叫喚の渦きを捲き起した、原因はダイヤの混亂と云はれておるが平常時と餘程異なつて暗中でも見分けのつく信號白き布を車尾にまとふといふが如き簡易な標識も考へらるゝのである、訓練管制とはいへ殉死傷者を發生せしめざることが緊切な事である。注意の行届かざるを遺憾とする。

關門國道トンネルは愈ゝ進捗することの方針を以て對處するとの事である、此トンネル開通の曉は本土と九州との交通は直結せらるることとなりトンネルは勿論山口福岡兩縣の國道改修も必然的仕事である、從つて此が巨額の經費を如何にして辨償すべきか交通料の徵否、工事分擔方策等重要なる硏究問題が存在する譯である、交通料は可成安價にとは佐藤第二技術課長の意見と聞く、吾々も左樣に希ふものである。

中村新潟縣知事は國民總動員運動の經過及實際を檢討し其やり方が餘りに形式に流れ政府の指示を鵜のみにし形だけ眞似てチンドン屋の如き仕振は甚しく不都合である特に長期戰局に對應し得られざるもので是非とも之が轉換革正を施さねばならぬと工夫を凝らされて居るとの趣である、寔に民情の性癖は御祭騷ぎに墮することの多きことに在る、大に反省を要する。（洮）

定價一部五十錢
一ケ年分金六圓

東京市麴町區霞關一丁目内務省内
發行所 社團法人 道路改良會
電話銀座(57)四二七

東京市世田ヶ谷區代田壹丁目七八〇番
發行兼編輯者 小島效

東京市小石川區諏訪町五六
印刷所 常磐印刷所
印刷者 奈良直一